



盛岡市議会議員

# いせ 志穂 (市民会議)

事務所 〒020-0133 盛岡市青山3-29-4 TEL&amp;FAX 019-645-8510

自宅 〒020-0127 盛岡市前九年1-9-26

http://ise.nahan.jp/ E-mail:ise@nahan.jp

## 所得格差を広げる増税を許すな

### ■年金給付のために消費税増税？

10月25日に開かれた政府の経済財政諮問会議で日本経団連会長らが『基礎年金の給付を全額税金で行うとすれば12.4兆～16.3兆円の財源が不足し、消費税率は10%～12%にしなければならない』という試算を発表しました。

所得格差が大きく広がったことと、年金制度への不信感が大きくなったことで、保険料を実際に納めている率は半分以下になっています。高齢化を考えると、年金給付の財源が不足するのは確実。『納めてももらえない』のであれば、さらに納める人は減り、制度そのものが崩壊してしまいます。そのために『薄く広く取れる税』である消費税を増税しようという話なのです。

### ■増税するなら消費税より贈与税・所得税

私は年金の全額税方式に賛成ですが、その財源が消費税というのは「ちょっと待って！それって違うんじゃないの」と思います。

収入が少ない人ほど辛い(逆進性が強い)消費税を増税すれば『格差』をさらに広げ、貧困に陥ってしまう人たちを増やすことになるからです。増税は株の所得や、2000万円以上を対象にした所得税で行うべきです。

### ■年金官僚の無駄遣いを公開し、改めるべき

また、官僚による保険料流用やネコババなど、年金関連の会計をすべて公開すべきです。年金官僚は国民が自分の年金額を計算でき

ないことをいいことに、公益法人や受注企業に随意契約・天下りを繰り返し、年金を食物にして来ました。5000万件以上の「振込詐欺」をさせておいても、なんら処罰がないというのは納得できません。

### ■『増税で社会保障を充実』の大嘘

「年金の減額か、消費税増税か、2つに1つしか方法がない」というのは大嘘です。

自民党は消費税の導入時にも「福祉の充実のため」と言いましたが、福祉はむしろ後退したという感が私にはぬぐえません。消費税導入から2005年までの消費税収は175兆円、同じ時期の法人税減税は160兆円。この減税でも雇用状況は改善せず、現在では約1/3が不安定な非正規雇用。私たちに還元されたものはあまりにも小さすぎます。

11月初めに福田首相が小沢民主党党首に大連立を呼びかけたのも「増税への布石であったのでは」とも言われています。自民党の大嘘による消費税増税を許してはなりません。

### 3人に1人の年金記録が宙に浮いている？

先日ある方が年金記録を確かめたら2家族4人の内3人の記録が間違っていたとのこと。宙に浮いた『消えた年金』です。すでに年金をもらっている方を含め、全ての方が年金記録を照会するようお勧めします。

# 歩行者・自転車が便利な道路に

## ■自転車安全利用条例が制定へ

2005年9月議会で一般質問をした自転車条例が今年度中に制定されることになりました。自転車利用の促進と自転車が走りやすい道路にすることがねらいです。『盛岡自転車会議』などの市民団体や、自転車利用者・歩行者の声が実りました。

自転車は健康的で、また二酸化炭素を排出しないため環境にやさしい交通手段です。

盛岡は自転車利用率の高い街ですが、実際に走ってみると、自転車の走る場所が確保さ

れておらず、とても危険な所がたくさんあります。危ないからと言って歩道を走ると、今度は歩行者に迷惑をかけることも。

自転車も歩行者も安全な道路づくり、ルールを徹底を行わなければならないと思います。



## ■歩道は歩行者に 自転車には自転車レーンを

このところ自転車による事故の増加が伝えられています。2006年の自転車が絡む人身事故は盛岡市だけで262件。私たちの調査

では歩行者の4人に1人は「歩道で自転車にぶつけられたことがある」と証言しています。小さな交差点で歩道を下ってくる自転車と車の出会い頭、歩道上の突然の自転車の追い越し、みなさんも経験ありませんか。



富山市の例

本来自転車は軽車両

で車の仲間。車道の左端を走行することになっています。ところが1970年法律が改正され自転車の歩道通行が一部認められることによって、いつのまにか歩道は自転車が我が物顔に走るようになってしまいました。

自転車の歩道走行は、歩行者に危険であるだけではなく、自転車の持つ走行性が損なわれています。車道にカラーリングした自転車レーンを設置していけば、この様な問題は解決していきますし、車からも安全です。

自転車交通量の多い場所(中央通り、館坂橋～夕顔瀬橋、三高～本町通、明治橋周辺など)に自転車レーンの設置を要望していきましょう。

## ■ルールを守るために

自転車の交通規則を学習する機会も非常に少ないのが現状です。

現在、岩手県立大学と盛岡自転車会議が、有効な自転車安全教育の方法について共同研究を行っています。自転車の安全運行について、特に、実際に道路を自転車で走っていた時や、歩道を歩いていて気付いたことなどがありましたら、ぜひ私の事務所までご一報ください。

## ご存じですか？自転車交通ルール

下記が歩道を走る場合の交通ルールです。実はこの問題に取り組む前、私もあやふやでした。今年の春から悪質な違反の取り締まりも強化されています。ぜひ、周りの方にも教えてあげてください。



右の標識のある歩道しか走れない  
歩道の真ん中より車道側を走る  
歩行者の通行を妨げそうな時は一時停止する

# ■ 9 月市議会定例会報告 ■

くわしく知りたい方は事務所までご連絡ください

## 二転三転する国の方針に対応できない盛岡市

盛岡市は『新中心市街地活性化基本計画』の策定を進めていますが、国から「盛南開発との位置づけを明確にすること」と指摘をされました。計画が認められない場合、まちなかの活性化に関わる補助金に大きな影響が懸念されます。

そもそも盛南開発は 90 年代に国の景気浮揚策の 1 つとして事業採択されたもの。その時代その時代で、コロコロ変わる国の方針に盛岡市は翻弄されています。今回も補助金をもらうために辻褄合わせの計画を作ってしまうと、将来もっと大きな矛盾を抱え込む事になりかねません。

風が吹けば変わるような国の方針に左右されない、盛岡市のまちづくりの考え方を確立させることが必要です。

## 何のための『50 万人都市構想』？

谷藤市長の考え方は「盛岡市を 50 万人都市にする」というものですが私はこの『50 万人都市構想』に反対です。

合併によって人口を増やしても市民生活が便利になるわけではありません。

もはや拡大一辺倒のまちづくりは時代に合わないものとなっています。盛岡駅西口開発・盛南開発・二環状六放射の都市計画道路建設は盛岡市に大きな借金をもたらしました。その反省に立ったまちづくりを行うべきです。

もはや拡大一辺倒のまちづくりは時代に合わないものとなっています。盛岡駅西口開発・盛南開発・二環状六放射の都市計画道路建設は盛岡市に大きな借金をもたらしました。その反省に立ったまちづくりを行うべきです。

## 今住んでいるところを便利に

市民にとって一番必要なことは、自分たちの居住区で日常生活に不便しないことではないかと私は思います。生活道路や公共交通の充実・ライフスタイルにあわせた住み替え制度の策定・既存商店街の活性化など、現在盛岡市が持っている都市機能を十分に使えるようなまちづくりを行うべきです。

## 一般質問答弁より

### 障がい者雇用の登録制度があります。ぜひ登録を！

Q：市は法定雇用に達していないが対応は？

A：障害者の非常勤職員登録制度を開始している。現在の登録者数は 20 人。ここから内定も含めて 2 人が採用されている。

### 母子家庭の就労支援制度や資格所得などの講座があります

Q：母子家庭への雇用対策についてどうなっているか？

A：保育所への優先入所、相談事業、母子寡婦福祉資金貸付、自立支援教育訓練給付金支給事業、市の就業促進事業などを行っている。

### 女性センターでDV(夫やパートナーからの暴力)相談を受け付けています

Q：市ではDV防止基本計画の策定やDV相談支援センターの設置をしないのか？

A：女性センターで昨年は 380 件の相談を受けた。計画の策定や支援センターの設置は検討中。来年初めまでに結論を出す。

### NPOや市民団体が市との協働事業を提案・受託する際はガイドラインの確認を(全国的に『NPOは安い労働力』と考えられることをが陰視されています)

Q：協働事業を採択する際の基準は？

A：2004 年に策定した「NPO との協働を進めるためのガイドライン」に沿っている。



# 緩和ケア医療の推進を

昨年6月に制定された『がん対策基本法』を受けて『岩手県がん対策推進計画』が策定される予定です。県では12月下旬からのパブリックコメントを予定しています。2人に1人はがんになる時代、多くの人たちの声を反映させた計画を作りましょう。

## ■緩和ケアの充実のために

私は5年前から『岩手にホスピス設置を願う会』に参加し、緩和ケア（ホスピス）施設の設置を求めて活動してきました。多くの方々の要望で、奥州市の県立磐井病院、盛岡市の孝仁病院にホスピス施設が出来ました。

今後の課題はそれらのホスピスが、数として充分か、患者さんや家族にとって良いホスピスであるかどうか、だと思います。また、自宅で療養する方のために、往診してくれるお医者さんや看護師さんの育成にも力を入れることが必要です。

## ■医療・看護の他に必要なこと

体の痛みの他にも、心の痛みに対するケアや抗ガン剤の副作用への対処など、まだまだ考えなければならないことがあります。

皆さんのご意見をお寄せください。

## 「生きてるだけで金メダル」 第三回樋口強落語講演会

2007年10月21日（日）盛岡劇場において、樋口強さんの落語講演会が岩手にホスピス設置を願う会の主催で開催されました。

全日本社会人落語協会副会長兼事務局長をつとめる樋口強さんは、11年前、生存率がきわめて低い肺小細胞がんに出会い、手術と抗ガン剤治療で乗り越えました。薬の副作用での全身のしびれがありながら「笑いは最高の抗ガン剤」と言い、がん仲間とその家族を励ますために、毎年『命に感謝の独演会』を開いています。

私もスタッフとして参加しましたが『普通に生きている幸せ』を感じる催しでした。



## 気づいたことを教えてください

いせ志穂事務所では随時皆様からのご意見・ご相談を受け付けています。

特別なことでなくても、日常生活を送っていて「あれ？おかしいな」と思ったことがあれば、ぜひ私たちに教えてください。そういう素朴な疑問から、市政への提言に発展したものがたくさんあります。よろしく願いいたします。

## お手伝いください

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなど



お手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。

## カンパのお願い

議員歳費の多くを活動につぎ込んできましたが、やるべき事が増える一方、議員歳費を減額。それにともない赤字が続いています。このご時世大変心苦しいお願いですが、カンパもよろしく願いします。  
郵便振替口座 02230-8-52327 伊勢志穂

